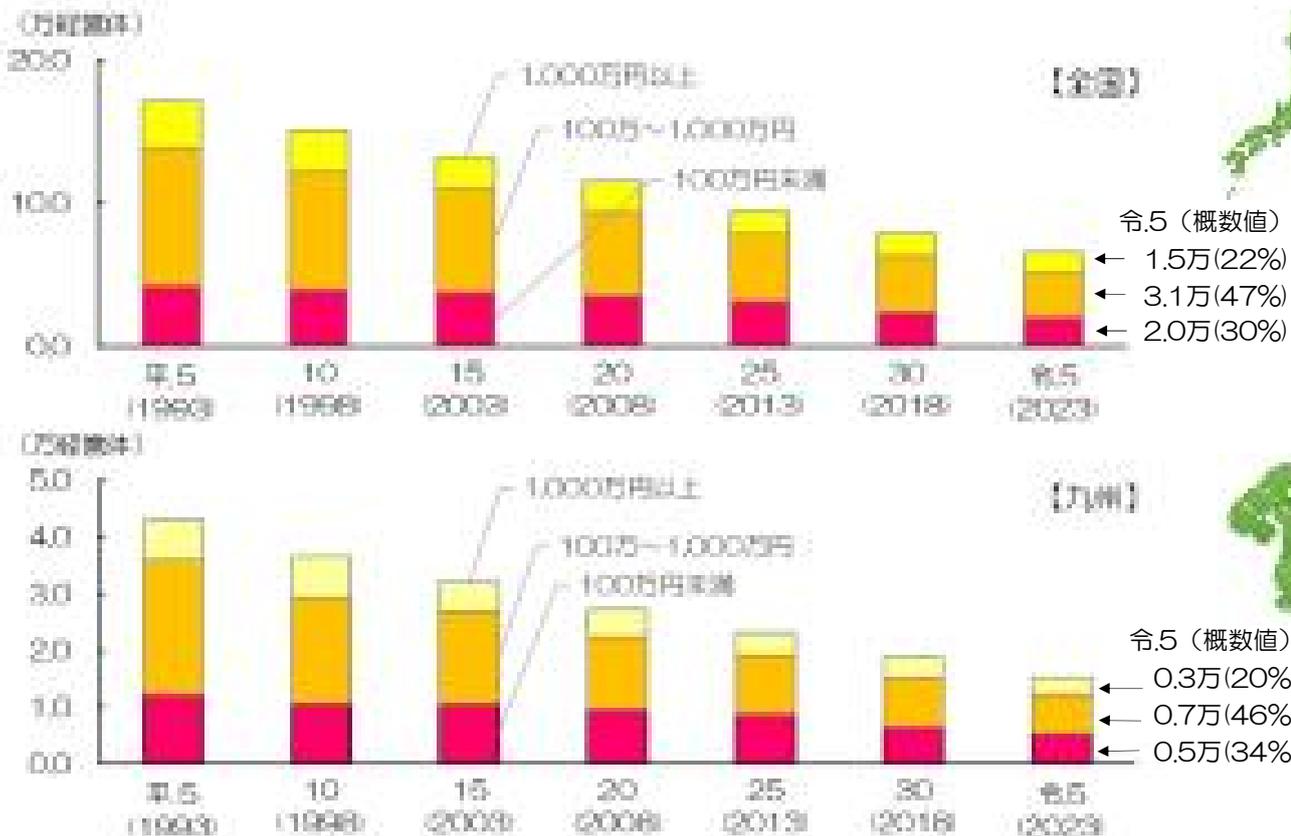


漁業経営体数が減少し、漁業者の高齢化が進行しています

漁業や養殖業を営む世帯や事業所である漁業経営体数は、全国及び九州とも減少傾向で推移しています。

経営体が減少する中、漁業または農業に従事している者の65歳以上の割合は、全国、九州いずれも総人口（15歳以上）における同割合を上回っており、漁業も農業と同様に高齢化が進んでいます。単純な比較はできませんが、漁業は農業と比べると65歳以上の割合は低い結果となっています。

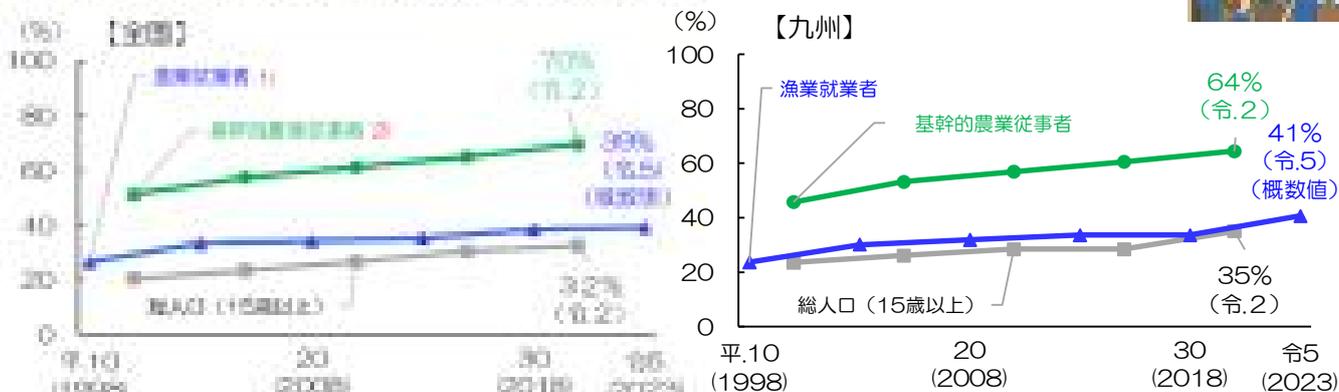
■ 全国と九州の販売金額規模別漁業経営体数（海面漁業）の推移



資料：農林水産省統計部『漁業センサス（概数値）』

注：「(%)」は、漁業経営体数に占める各階層（販売金額規模別）の割合です。

■ 漁業者・農業者・総人口（15歳以上）における65歳以上の割合



資料：農林水産省統計部『漁業センサス（概数値）』および『農林業センサス』並びに総務省統計局『国勢調査』をもとに九州農政局統計部で作成しました。

注：1) 漁業就業者は、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した人をいいます。

2) 基幹的農業従事者は、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している人をいいます。